

第 89 回メーデー川崎地区大会が 2018 年 4 月 28 日（土）に開催され、55 組織、組合員とその家族 6,000 人が参加しました。川崎地区連絡協議会として 130 名が参加し、式典やデモ行進にも参加し、模擬店を出店しました。

当日は役員・幹事が中心となり、早朝より模擬店の準備や会場の場所取り、設営をしました。

まず、メーデーの開催に先駆け、各組織から 304 名が稲毛神社前の広場に集まり、人文字パネルで「クラシノソコアゲ」をアピールしたのち、【働く者のために「働き方改革」をすすめよう！】などをスローガンに稲毛神社からメーデーの会場までの約 500m と短い距離ではありましたが、デモ行進を行ない広く市民の皆さんに訴えかけました。

式典は藤吉実行委員長が代表して「働くもの同士が助け合い、安心して暮らせ、次代の子供たちにつなげる世の中を作り出していきたい」と挨拶がありました。次に来賓として、連合神奈川岡元副会長、川崎市福田視聴、雨笠川崎市議会議員から、それぞれ挨拶がされました。最後に川崎メーデースローガンを確認し、ガンバロー三唱を行ない、参加者の意思結集を図りました。

会場では、「タオル 1 本運動」の回収や震災被災地支援の募金活動が行われ、川崎地区連絡協議会は毎年、恒例となりつつある、「フランクフルト」と「生ビール」の販売をおこなっていました。今年は天候に恵まれ、4 月とは思えないほど気温が高く、生ビールの売れ行きを期待していましたが、気温が上がり過ぎたのか、模擬店会場へ来られる方の動きが鈍く、昨年より売り上げが伸びませんでした。残念！！

ステージでは、川崎市公認のマスコットキャラやサッカー川崎フロンターレとバスケットボール川崎ブレイブサンダースのマスコットキャラが集結し「クラシノソコアゲ応援団」となりました。その後、仮面ライダーショーが行われ、最後に大抽選会が行ない、組合員・家族と一緒に楽しい一日を過ごしました。



メーデー開会



マスコットキャラ



人文字パネル



模擬店